

ガスクロマトグラフィー研究懇談会 第 15 回キャピラリーガスクロ講習会開催報告

首都大学東京の工学部学生実験室をお借りして開催している本講習会は 15 回目を数え、3 日間の講習（講義 1 日、実習 2 日）を行った。首都大学の内山先生、香川先生、日大の中釜先生と研究室の学生の協力を得て、アジレントの代島副委員長が実行を指揮し、運営委員の企業（島津、アジレント、GL サイエンス、フロンティアラボ、東京化成工業、テクノインターナショナル）がトレーナーと機材を提供し講習に当たった。受講者 25 名（内講義のみ 2 名）で、1 日かけて分離の基礎理論、試料導入、各種試料導入機器、検出器、GC/MS の基礎、スペクトルの読み方などの講義を行い、その後 2 日間の実習に入った。キャピラリーガスクロの全体を理解するための基礎講習であり、普段使っている装置の中で何が起こっているか、教科書に書いてあることと実際に得られる結果とのつながりなどが理解される内容で、受講者らにも満足いく講習会であった。講義 1 日はちょっと短く、もう少し詳細な内容を知りたいという要望や、東京以外でも開催できないかといった要望もあり、これからの講習会を考える参考となった。学会ならではの講習内容を 15 年間維持し、それなりの効果も得られており、この講習を基に実習用のテキストを編纂中であり、間もなく出版する予定である。

本年の実習にご協力いただいた首都大学の内山先生、香川先生、日本大学の中釜先生並びに企業の方々、運営委員の方々の多大なるご支援に深謝いたします。

前田 恒昭（（独）産業技術総合研究所）

